

アドベントクラフト④ 色々な大きさに作る あづま袋



「あづま袋」って知っていますか？昔からある、手ぬぐいで作られた三角の袋で、小さく折りたたんでカバンの中に入れておくと便利です。これぞ、元祖エコバッグ。

今回は、余り布なども使って、使い勝手の良い3種類の大きさのあづま袋を作ります。

用意するもの



今回は・・・

余り布①(ピンク 麻の葉柄) 巾55cm×長さ55cm(大サイズ用) 1枚

余り布②(緑×黒市松模様) 巾38cm×長さ38cm(中サイズ用)

巾25cm×長さ25cm(小サイズ用) 各1枚



布①に合わせる布③ 110cm巾×60cm

→ 巾107cm×長さ55cm(大サイズ用)に切る

布②に合わせる布④ 90cm以上巾×70cm

→ 巾73cm×長さ38cm(中サイズ用)

巾47cm×長さ25cm(小サイズ用) 各1枚切る



カバン用持ち手(大サイズ用)
手縫い糸 布の色に合わせて

作り方



大サイズの布①と布③を巾方向ではぐ。(縫い代1.5cm)



継ぎ目を割って、それぞれ三つ折りにしてステッチで押さえる。



同様に、布②と布④の中サイズ用同士、小サイズ用同士も巾方向でそれぞれはぐ。

*ここからは大サイズで作り方を説明します。作り方はどのサイズも同じです。



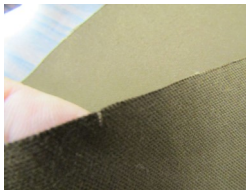
短い両端の縫い代1.5cmを、7mm+8mmの三つ折りにして、ステッチで押さえる。



長さ方向の幅が156cmになる。
(中サイズは105cm・小サイズは66cm)



巾方向156cmを3等分に折る。布の継ぎ目と、もう1か所が折り位置になる。継ぎ目ではない方の折り位置に、小さい切り込みを入れて目印にする。



1/3を中表に折返し、上辺を縫い代1.5cmで縫う。



上辺を縫ったところの下角をめくり、今度は反対側を中表で折返して、めくったところに差し込む。



その下辺を縫い代1.5cmで縫う。



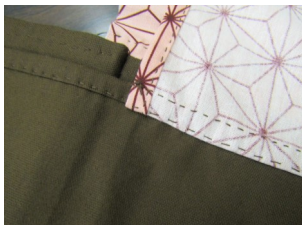
「めくったところ」の角と、「差し込んだところ」の角を持って、上に引き上げる。

* 三角が2つ重なったような形になります(写真参照)。



縫い合わせた部分～布端の部分までを、7mm+8mmの三つ折りにしてステッチで押さえる。

* 交差する部分は、最初の三つ折りを巻き込むように折る。





反対側の面も同じように、三つ折りにしてステッチで押さえる。



表に返して、完成！

できあがり

中サイズ、小サイズも同様の作り方でできますが、大きいものは厚手の布で、小さいものは薄手の布で作ると、作りやすいし、大きさに合った用途で使いやすいです。

大サイズのものに風呂敷バッグなどの持ち手をつなげると、バッグとしても使いやすいものになります。中サイズはバッグインバッグやサブバッグでカバンに常備しておくくと便利です。小サイズはお弁当風呂敷にもちょうどいい大きさです。

ぜひ、色々な布で、色々なあづま袋を作ってみてください！

